



ナショナル・
ユニティ・
デーへの参加が
決まった僕
アブラハムは



*Running for
peace and love*

ここで改めて
ナショナル・ユニティ・
デイ(NUD)
開催までの背景について
触れておきたいと思う



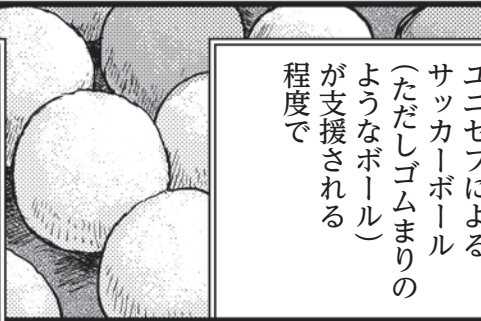
南スーダンの
人々に
とって最も
ポピュラーな
スポーツは
サッカーで

次いで
バスケットボール
バレーボール
などが
人気のスポーツだ

ただ
NUD発足前の
2015年
経済的に
余裕のない
南スーダンでは

ユニセフによる
サッカーボール
(ただしゴムまりの
ようなボール)
が支援される
程度で

スポーツ環境は
決して
整っているとは
言いづらい
状況であった



また
第一回NUDの
陸上競技場にも
なったブルク
競技場は

もともと
ただの空き地の
ような
ところで

石ころや穴が
散乱しとても
競技のできる
状態では
なかった



古川光明

元JICA
南スーダン事務所 所長



エドワード
文化・青年・
スポーツ省 局長

そこで
南スーダンの
文化・青年・
スポーツ省
(現 青年・
スポーツ省)と

日本の国際協力
機構(JICA)が
一丸となり
大会のコンセプト
から開催方法に
至るまでを決めた

その後日本の
自衛隊や
建設機関などの
サポートにより

選手の
宿泊所から
グラウンドの
整備まで
NUD開催に
向けて

急ピッチで
競技環境を
整えて
いった

いろんな人達
が協力して
くれたんだ

：なら代表に
選ばれた
僕は

「平和と結束」
の実現の
ために

全力で
頑張る
必要が
ある！

それでも
本当に
僕らは…

「結束」
すること
が出来る
だろうか…

NUDが
ここまで
「結束」を
押し出すには
もちろん大きな
理由がある

よし！

ん？

南スーダンは
ケニア・ウガンダ・
エチオピアに
かけて広範囲に
分布する

西ナイル系譜語
を話す

「ディンカ族」
「ヌエル族」など

大小64の
民族が
居住する
多民族国家
である

牧畜を
主要な
生計とする
遊牧民が
多く



独立後も
国民の結束を
高めるための
取組が十分に
されてこなかった
中で



乾季に
水を求めて
移動する
中で家畜用
の草地・水場
を巡る争いや

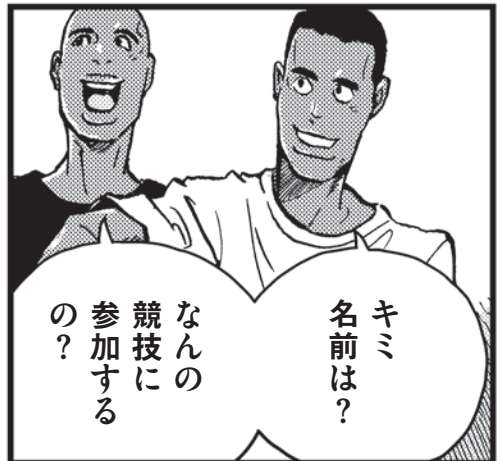
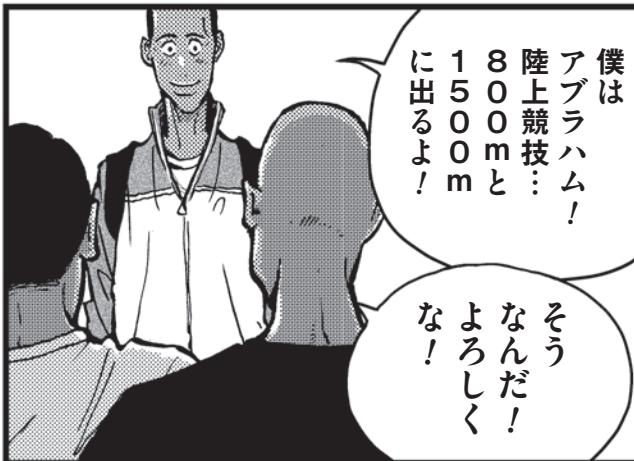
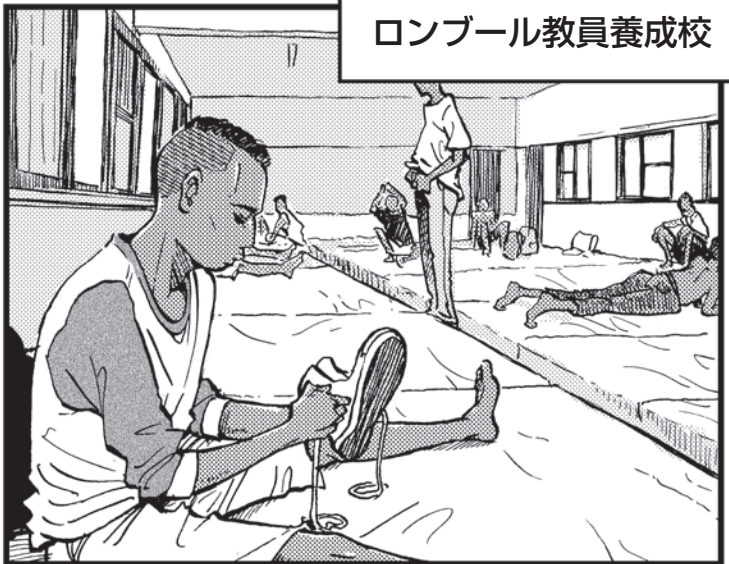
家畜争奪を
きっかけにした
争いが起こる
など

民族の
繋がりが希薄
であることに
よって
これらの問題が
引き起こされた

NUDは
民族融和
国民の一体感や
和解への

希望の灯と
なることが
期待されて
いたので
ある

ロンブール教員養成校





僕は…
もちろん

「平和」の
為さ!



え?
僕?

ところで
アブラハム
キミは
何の為に
走って
いるの?



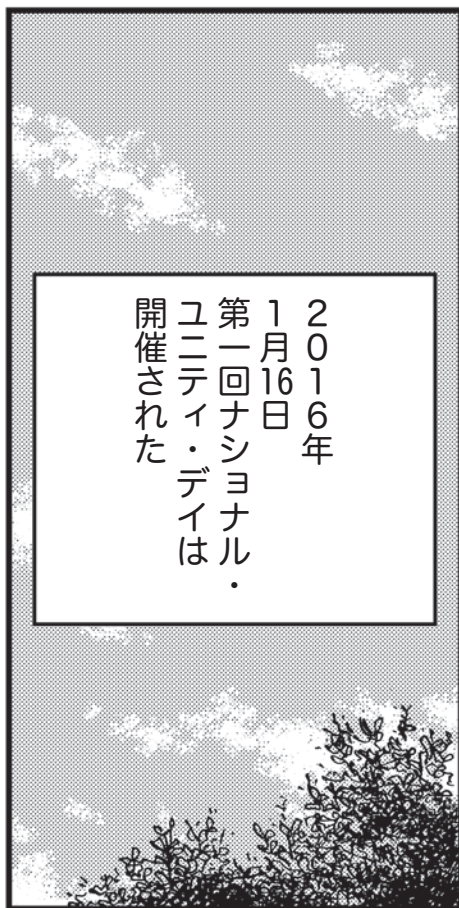
俺たちだって
気持ちは
同じさ!!

あ…



アハハハ!
君は真面目な
やつだな!
もっと楽しめよ
!

…でも



2016年
1月16日
第一回ナショナル・
ユニティ・デイは
開催された



ハハッ

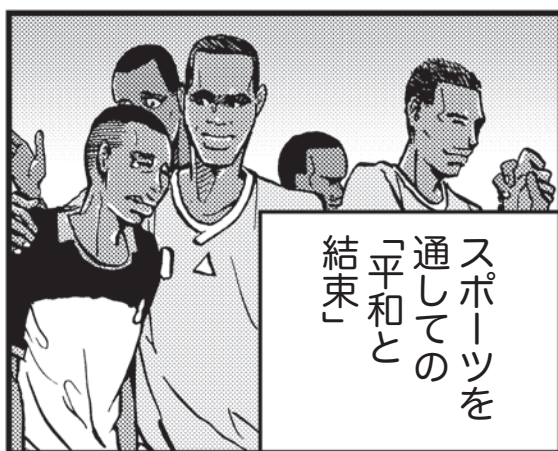
誰もが平和を
望んでいる—
それを僕は
改めて知る
ことができた

そして



中には
その光景を
見て
泣いている
人もいた

国旗や
州の旗を
掲げての
入場行進が
あった

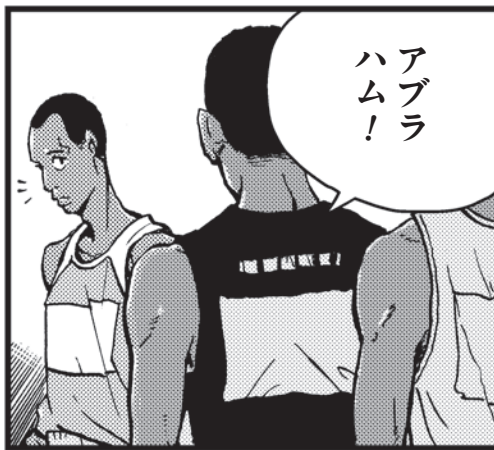


スポーツを
通しての
「平和と
結束」

平和を願う
心はみな
同じだ



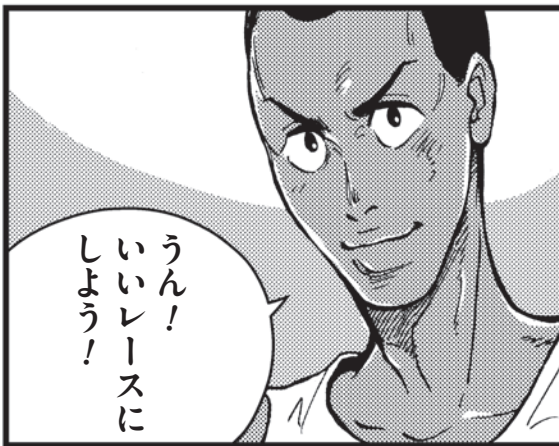
この国は
変わって
いける
かもしれない



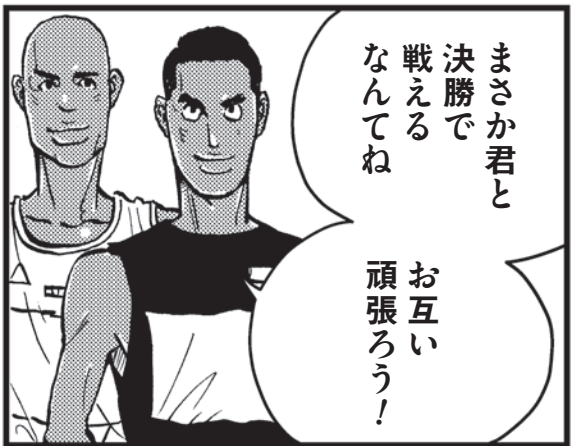
アブラ
ハム!



そして
僕のレースの
時間が
やって来た



うん!
いいレースに
しよう!

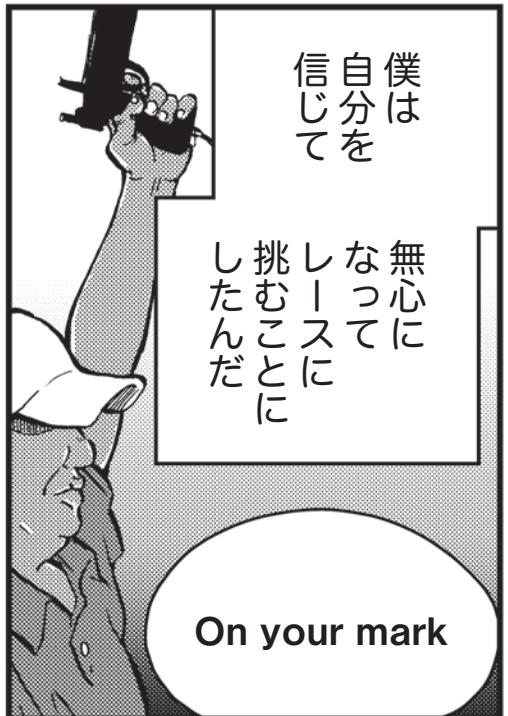


まさか君と
決勝で
戦える
なんてね

お互い
頑張ろう!



アアアアア



僕は
自分を
信じて

無心に
なって
レースに
挑むこと
に
したんだ

On your mark

